

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来



与謝野町

議会だより

第65号

2022年

8月10日発行



主な記事

- ◎議長就任あいさつ…… 2P
- ◎6月定例会…………… 4P
- ◎一般質問…………… 13P

令和4年度かえでこども園七夕

《題字》宮津天橋高等学校加悦谷学舎 / 書道部2年 谷川莉菜 さん

委員会構成

議会運営委員会

委員長 安達 種雄
副委員長 今井 浩介
浪江 秀明
永島 洋視
和田 裕之
山崎 良磨



総務文教厚生常任委員会

委員長 永島 洋視
副委員長 杉上 忠義
野村 生八
渡邊 貫治
今井 浩介
山崎 政史
三田 義幸
宮崎 有平



産業建設環境常任委員会

委員長 和田 裕之
副委員長 家城 功
藤田 史郎
高岡 伸明
浪江 秀明
河邊新太郎
安達 種雄
山崎 良磨



議会広報特別委員会

委員長 河邊新太郎
副委員長 藤田 史郎
高岡 伸明
渡邊 貫治
山崎 政史
三田 義幸
山崎 良磨



議会構成 が決まる

議長に宮崎有平氏 副議長に山崎良磨氏 就任



議長
宮崎 有平

議長就任あいさつ

改選後の議会臨時会におきまして、議員各位のご選任を賜り、与謝野町議会第9代の議長に就任させていただきます。誠に身に余る光栄であり、心より感謝を申し上げますとともに、その責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、決意を新たに、さらなる町政の発展と町民福祉の向上、また、公正・公平かつ円滑な議会運営のため、全力で職責を果たす覚悟を持って、誠心誠意努める所存でございます。

第6波の新型コロナウイルス感染者数が下がらないまま、第7波に突入するとも言われている中、本町におきましても町民の皆さまの日常生活や地域経済にも甚大な影響が生じております。特に、様々な社会経済活動の制限が続くなか、医療福祉関係に携わる方々の献身的なご尽力や、町民の皆様には外出の自粛や営業の自粛・縮小へのご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、与謝野町を取り巻く環境は、毎年変化しております。厳しい財政状況の中で、少子高齢化社会に対応した、医療・福祉・教育の充実、地方創生への取組等、重要な政策課題が山積しております。本議会としては、町民の思いを町政に反映していくという地方議会の原点を意識し、多様化する町民ニーズにきめ細やかに応えていくことが、肝要であると考えております。そのため、コロナ禍においても二元代表制の一翼を担う議会として不断の改革を実践してまいりますとともに、さらに町民の皆様にとって、より身近で開かれた議会を目指して、会話と議論を重ね、皆様の期待にお答えしたいと、固い決意で町政発展のために、誠心誠意努めてまいり所存でございます。今後とも、町民の皆様のご温かいご支援、並びにご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。



監査委員
家城 功



副議長
山崎 良磨

第3期山添町政スタート 肉付け予算全議案可決



6月定例会は6月8日から6月29日の22日間で開催された。一般会計及び下水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告案件を2件、教育委員会委員の任命議案のほか、監査委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任議案を5件、町長等政治倫理条例、公共施設等マネジメント推進委員会条例の条例制定議案が2件、税条例をはじめとする一部改正議案が2件、野田川老人憩の家条例の廃止議案が1件、そして一般会計をはじめとする各会計における補正予算を5件、都合16件の重要議案を審議した。また、副町長の任期満了に伴い、副町長の選任議案について同意した。

与謝野町長等政治倫理条例

藤田史郎

政治倫理条例の必要性は

内容説明

この条例制定の目的は、町政が町民の厳粛な信託の上に成立するという民主主義の原則に基づき、その担い手である町長（副町長・教育長等）が、自己の地位による影響力の行使や利益を図ることの無いよう、必要な政治倫理基準を定めるものである。

上記政治倫理に違反する事実や疑惑がある場合には、町民からの調査請求による審査会で調査審議される。

採決にて全会一致で可決された。

固 なぜ、今この6月定

例会に議案「与謝野町長等政治倫理条例」を出されたのか、その根拠は。

町長 条例を早く出したかったが、コロナ対策で時機を逸し、3期目の町政運営にあたり、倫理規範を町民に示すものである。

固 国府又は近隣市町で制定されている条例を参考にされたのか。

総務課長 京都北部7市町を参考として策定した。

固 条例による審査会の委員は5人以内とし、町長が委嘱するとなっているが、公正・中立的審査がされるように委員は議会の同意が必要と思われるが。

総務課長 京丹後市や他の条例では、対象者が「町長等」と「議員」のため議会の同意を求めている。

本町では「町長等」のみの政治倫理条例であり、議会の同意は求めない。

マネジメント推進委員会条例

内容説明

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進し、その最適化を図るための附属機関を設置するための条例である。野田川地域における公共施設あり方検討委員会、第1期デザイン会議を経て議案が上程された。

委員の選定基準や今後のスケジュール等に質疑が相次いだ。その後、採決にて全会一致で可決された。

公共施設の何を話合うのか

高岡伸明



野田川体育館

固 マネジメント推進委員会は公共施設の何を話し合う委員会か。

企財課長 住民参画の組織体を作る。公共サービスのあり方について今後つなげていきたい。

固 最終的にはどういう結果に結び付けたいと考えているのか。

企財課長 今、その答えは持ち合わせていない。多種多様な会議に向向

ていき、いろんな意見を聞き、合議制で決めていきたい。

固 マネジメント推進委員会の委員の選考はどのように行うのか。

企財課長 10人以内と明記している。有識者、財政の専門家などを含む。公共的団体の役員の内から町長が委嘱する。

あり方検討委員の参画を

山崎良磨

問 委員会の総人数が10名以内は少ないように思うが、デザイン会議等の住民参画との連携を考慮したうえで少なくしているのか。

企財課長 指摘のとおりである。委員がデザイン会議等に赴いて話を聞く機会を多くしたいと考えている。

問 委員の有識者の枠で、あり方検討委員会の委員を入れるべきだと考えるが。

町長 条例内の選定基準に従って委員の選定をしたい。

問 ここにきて画竜点睛を欠くことのないように公正に事を進めたい。

町長 細心の注意を払いながら委員の選定をしたい。



図書館野田川分室

公平公正な委員選出を

永島洋規

問 条例案で委員は、有識者・執行機関の委員・公共的団体役員となつて町総合計画審議会委員には一般住民が入っている。第三者委員会提言でも地域住民が参加する委員会としている。なぜ入れないのか。

企財課長 よさの地域デザイン会議等で意見を聞く。

問 混乱の原因は、住民意見を聞かなかつたからであり、これ以上の混乱は避けるべき。そのためにも誰が見ても公平な委員であることが大切。

町長 公平公正な委員選出を約束する。



図書館岩滝本館

住民に必要な施設は存続を

野村生八

問 この委員会では、どういう議論をするのか。財政見通しが変わつていて、以前の基本計画では現状に合わないのでは。「財政が大変だから公共施設を減らす」という立場を変えるべきだ。

企財課長 現在の財政計画に基づいて検討していただく。国の状況によつて、いつ厳しくなるかわからないもの事実は。



旧野田川庁舎

令和4年度一般会計補正予算第1号

内容説明

令和4年度与謝野町一般会計補正予算第1号は、歳入歳出予算にそれぞれ4億343万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ118億7千643万5千円にするもの。

主な内容として、歳入では国庫支出金の新型コロナウイルス接種対策費負担金の増額、ワクチン接種体制確保事業費補助金の増額、文化財保存活用事業貸付金償還金等による増額。

歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種に係る予防接種事業5千2万9千円、大切井堰の改修工事3千万円、クアハウス岩滝維持補修工事費5千万円が上程され、原案どおり可決された。

ろ過機の修繕あと何個か

高岡伸明



クアハウスのろ過機

問 5千万円でろ過機6個の修繕だが、あと何個直す必要があるのか。

観光課長 バードゾーンに5カ所あるが、1カ所の修繕と、薬注ポンプの2カ所になる。

問 全ての修理が終わるまでに、あとどれくらいお金と時間がかかるのか。

観光課長 お金は2億3千700万円程度と試算している。約2年かけて修繕する。

問 令和元年に大掛かりな改装をしたわけだがその成果は。

観光課長 コロナの影響を受けながらの営業。利用者は7万6千人の見込みで、回復傾向に至っていない。新設のエレベーターは8割の人が利用している。与謝野町民の健康増進回復に寄与している。

もっと計画や準備が必要

今井浩介

問 事業者連携促進事業とは。

商工課長 都市部の方々や事業者間の交流を促し、事業拡大や販路拡大、経営意識を学ぶ事業。

問 委託料90万円は。

商工課長 企画立案、運営やり取りをお願います。

問 この事業は町内事業者の課題を把握することから始めるとある。商工会と観光協会がリサーチすると書いてあるが。

商工課長 域外とつながりがある事業者に委託する。

問 簡単に言えば異業種交流会だと思いが、90万円の企画委託料が必要なのか。

商工課長 課題をまとめて、域外とつながる、参加者が集まるノウハウを委託したい。

問 何ができるか、誰が参加するかわからない中で、どうやってこの事業が考えられたのか。

商工課長 地域分析報告書の地域課題、政策提言の中から生まれてきた事業。

問 起業や創業とあるが、一番に相談に行くのは商工会だ。

商工課長 この事業で想定する域外企業や都市部の企業とつなぐ、マッチングのノウハウは無いと考える。

問 施設借上料60万円とあるが、産業創出交流センターを使用すれば無料だが。

商工課長 民間施設のATARIYAの借上料。民間施設であり設備が整っている。産業創出交流センターはあり方も含めて利用方法を考えたい。

子育て支援の充実を

和田裕之

町長 今回「出産準備支援金」が、令和4年見込数で、10万円の90名分と言うことで、900万円が新規事業として計上された。10万円の算出根拠は、

子育て課長 出産に係る経済的な不安を取り除くことが必要であり、出産における経費を支援することを目的に事業を検討した。算出根拠は民間業者の調査結果に基づく。

町長 この事業を立案するにあたっての町長の思いは。

町長 本町での出生数が年間100人を切る状況が想定される事態になっている。引き続き、より一層の子育て支援策を強化し、政策を行いたい。

町長 子育て支援の拡充や強化は、私の考えと同様であるが、新生児だけでなく、子どもは大きく成長するほどお金も必要だ。偏った政策にならない

いよう、また、今後も本事業を継続するのか。
町長 引き続き継続していければと考えている。

町の修繕負担の軽減を
町長 有機物供給施設管理運営事業の修繕料100万円が計上。これは、肥料製造設備の「中間層排用スクリーン」の緊急修繕だ。既に修理済みと認識している。腐食と劣化だが、大規模改修の当初からステンレス仕様にすべきであり、メーカーもしっかり検証すべきだ。

農林課長 仕様の甘さもあつたが、現在も計画工期中であり、メーカーにも指摘の点は投げかけ、他の部分も問題点や改善点を洗い出ししている。

説明責任について

家城 功

町長 提案時や常任委員会での説明が不十分であるから、本会議での確認質疑が多い。計画の不十分さや確認、説明責任が果たせていないのでは。

町長 指摘を踏まえて今後に活かしていく。
設計委託料が高過ぎる
町長 岩滝城山公園のLED化するのに、設計委託料が470万円と高すぎる。妥当な金額か。工事費は。

社教課長 当課での積算であり妥当である。工事費は約3千400万円の予定である。

町長 こういった工事には設計委託をして、それに基づいた工事を行わなければならないルールがあるのか。

副町長 今回は補助金を得るために根拠のある設計のもとでの工事

が必要。予算はできるだけ抑える。
行政が関わる範囲
町長 クラウドファンディングやテレワーク、空き家対策などの事業については、行政がかかわる範囲がある。責任が取れる範囲での計画を色々な想定

の基で立てるべき。
町長 指摘のとおりであり、様々な想定をして提案につなげることが重要。

町長 課長から「商工会にはノウハウがない」というような発言があつたが、関係団体などの連携を図った事業でない

と、効果につながることはない。
町長 そのとおりであり、連携を強化し有効的な事業振興を図っていく。

町長 参加する町民が魅力を感じる形にすべき。
町長 最善を尽くす。

基金条例を見直すべき

永島洋規

町長 文化財修復等に係る国補助事業の補助金交付までの間、町から資金を貸し付ける予算が提案されている。すでに商工と農林に限定されているが同様の基金がある。どの分野であっても、国・府補助事業に活用できる基金に改正するべきでは。

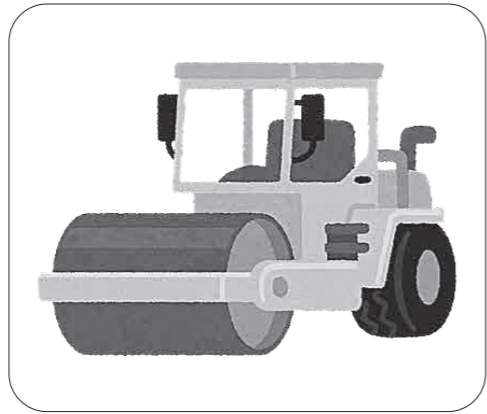
町長 色々な活用について、検討する余地はある。
町長 クアハウス改善計画を今年度4億円かけて改修した効果が出ていないのではないかと議論しているのか。
町長 改修しなければ今の状況はない。経営改善は議論していない。
町長 リフレと同じように収益改善計画と指定管理もゼロベースで見直すべきではないか。
町長 指定管理料を下げても応募がないのが実情。



大切な文化財の修復

工事請負費の内容は

渡邊貫治



道路整備は大切

町長 工事請負費の道路維持管理事業と道路新設改良事業に合計650万円計上されているが、府道網野岩滝線の始点の分も含まれているのか。

建設課長 都市計画道路として、府道網野岩滝線の計画地であるため、町道としての整備は無理で

あると考える。
町長 生活道路であり、早急に舗装をお願いしたい。(議員提言)

観光拠点リフレかやの里

杉上忠義

町長 7月から「社会福祉法人よさのうみ福祉会」に業務委託する経費690万円が計上してある。地元食材を使ったランチが人気で町外からも訪れる人も多くあつた。また、障害のある人の就業支援の場としての役割を担っている。現状は、新型コロナウイルス禍の影響大で経営は厳しい。レストランは休業し、大

浴場と宿泊の営業をする方針とあるが。
農林課長 地元地域も参画する「リフレかやの里運営協議会」で検討を重ねてきた。今後も、運営、就業支援継続の対応等の協議を福祉会、地元区とも続けていく。農福連携を強化する。



現在のリフレ

町指定管理費の増額根拠は

安達種雄

町長 3つの指定管理施設の指定管理料の補正内容は何か。なぜこの時期に増額か。また、この増額は今年度のみか。
観光課長 コロナ禍にあつて、指定管理者と協議の結果、令和4年度の収支見込みを勘案し増額とした。昨年度の実績ではクアハウスは収入9千97万円、支出8千846万円、約250万円の赤字で、経費削減の努力をしているが、電気料などは一年で700万円程度支出が増える見込みである。

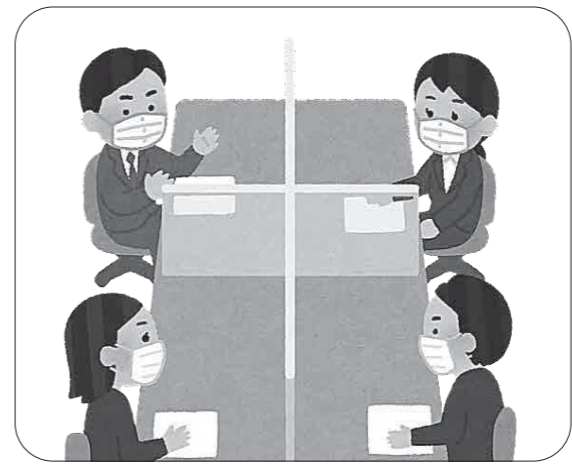
今年度の利用者はコロナの影響はある程度回復すると見込むものもコロナ前に戻るのはいくらか。国う少し時間がかかる。国の助成金が今年度はなく、指定管理料の減額や物価高騰の影響は避けられず増額とした。森林公園ユースセンターもコロナの影響で、旅行形態が団体から個人に変化しており、宿泊者数も令和元年度1,286人が令和3年度510人と6割の減となった。今年度は少し回復すると思つていますが、物価高なども大きく影響している。

大内峠一字観公園は、今年度見込みは、プラス・マイナスほぼゼロ。

共同のまちづくりに挑戦を

野村生八

固 重層的支援体制とは。与謝野町では、リフレをはじめ共同のまちづくりを実践しており、積極的に挑戦すべきだ。
農林課長 農福連携で、リフレかやの里では、するみ重層的な支援体制を実現していきたい。



まちづくりの話し合い

令和4年度一般会計補正予算第2号

内容説明

令和4年度与謝野町一般会計補正予算第2号は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4千438万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ120億2千81万9千円とするもの。
 内容として、歳入では国庫支出金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、生活者支援金に関する事業と事業者支援に関する事業による増額。
 歳出では、
 ・子育て家庭臨時支援金2千840万円（2,840人×1万円）
 ・営農支援交付金1千449万円（肥料高騰により、肥料購入費の一部を助成するもの。）
 ・事業者経費高騰緊急支援交付金6千万円（事業者に対する燃料費及び電気料金を含む公共料金の補助）
 ・生活支援に関する事業3千840万円（水道全契約者の水道基本料金から一律500円を8カ月分減免し負担軽減を行う。）
 ・新型コロナウイルス対策事業285万1千円（学校給食の食材費高騰に係る保護者負担の軽減）
 4人が質疑を行い、原案どおり可決された。

✓ 一般会計補正予算第1号に対する討論

賛成討論

山崎政史（よさの21クラブ）

「指摘を十分に理解した町政運営を」

今予算は選挙後の町長の政策に基づいた事業も含め、骨格予算の肉付け事業も多くあるが、各議員から様々な質疑があったように、事業組立ての不充分さや説明の方法など考え方や思い、それによる未来が明確にイメージ出来ないやり取りもあり大変不安を感じているが、本補正にはコロナ対策や子育て支援に関連する内容もあり、今すぐにでも取り掛かっていただきたいと感じている。各議員からの指摘を十分に理解し、各事業が意味と意義のある結果につながる形にしていきたい。

コロナ対応事業者支援を

杉上忠義



すみやかな支援を

固 新型コロナウイルス対策の名目で、政府が全国の自治体に配る「地方創生臨時交付金」。内閣府の資料によると、コロナ禍の中、原油価格・物価高騰に直面する生活者や事業者に対して自治体が実施する事業に幅広く活用することが可能であるが、本町の取組は、
商工課長 経済対策事業として、主に、燃料費や電気料金の高騰による経費の増加を価格に転嫁することが困難な町内事業者の事業継続を目的として支援を行っていく。補助率は支払総額の30%以内としたい。

5月臨時会

内容説明

5月10日、与謝野町議会改選後、初議会となる臨時会が行われた。1日目は議長選挙を始めとする役員等が行われた。2日目となる11日は10件の専決処分が上程された。主な内容は、一部条例改正と補正予算である。数人の議員質疑の後、全議案が承認・可決された。

私道も同じ除雪サービスを

野村生八

固 居住権を保障するためにも、私道の除雪も行うべきではないか。
町長 町道を基本に、限られた予算で除雪をおこなっている。私道等は、補助制度を活用してもらいたい。



除雪はすみやかに

物価高騰と暮らしの支援を

野村生八

固 積極的な物価高騰支援対策だが、高齢者は物価高騰に年金支給額の減額などにより、さらに支援が必要だ。今後の取り組みは。
町長 状況に応じて、いつでも予算化できるように、アンテナを高くしながら取り組んでいく。



物価高騰は悩みの種

与謝野町宮津市

中学校組合

報告者／浪江秀明

令和4年3月23日
3月定例会

議案第1号、専決処分承認で新型コロナウイルス感染症対策事業のため消耗品等の購入73万7千円を増額。歳入歳出予算1億1千7万2千円となった。

第2号から4号は令和3年の人事院勧告に基づく条例改正であり、会計年度任用職員の育児休業等の取得要件の緩和、会計年度任用職員の報酬等及び費用弁償に関する条例の一部改正、会計年度任用職員及び中学校組合職員の期末手当について条例の一部改正を行った。

第5号は令和4年度与謝野町宮津市中学校組合一般会計予算で、歳入歳出予算は1億246万3千円である。

以上5件の議案について審議を行い全会一致により可決された。

宮津与謝

消防組合議会

報告者／山崎政史

令和4年5月26日
5月臨時会

与謝野町議会の改選による副議長の選挙において宮崎議長が選出、監査委員は安達議員が選任された。

宮津与謝消防組合消防職員の育児休業等に関する条例と宮津与謝消防組合個人情報保護条例の一部を改正する条例の2件について専決処分を承認した。第5次宮津与謝消防組合基本計画に基づき策定された消防車両等整備事業計画に基づき、宮津分署の高規格救急自動車の取得について上程され、全会一致で可決・認定された。

副町長

井上 雅之氏（新任）



税務課長

吉岡 素子氏（新任）

観光交流課長

市田 桂一氏（新任）

商工振興課長

三田 大智氏（新任）

農林課長

矢野 彰男氏（新任）

CATVセンター長

谷口 義明氏（異動）

Q ばつども園設置場所の公約は

A 委員会の議論を確認し判断したい

問 新聞に庁舎問題の特集記事が掲載されたが町長の見解としたい。

町長 庁舎建設基金の残高も約2千900万円で、起債発行額も抑えている中、新庁舎の建設はハードルが高くなっているが、昨年のよさの地域デザイン会議にて、窓口のオンライン化や、一部機能を公民館に移すなどのアイデアが紹介されている。今後は公共施設等マネジメント推進委員会の議論を参考にして時代に合ったあり方を検討していきたい。

ないとの見解であったが、選挙が終わった今、改めて思いを問う。
町長 子どもたちの教育・保育環境の均衡を図るために早急に解決すべきと考え、現在野田川地域において運営していることも園及び保育所を新ことも園の用地にすると提案した。今後は、公共施設等マネジメント推進委員会の議論も確認しながら総合的に判断したい。

問 町民に誤解のないように進めてもらいたい。
町長 議員の指摘も受け止め慎重に検討していきたい。



山崎良磨 議員



会議をしっかりと

Q 税金だから使い放題・起債し放題か

A 今後も健全な財政運営に努めていく



三田義幸 議員

問 昨年11月の広報よさの11月号の中で起債総額が約284億6千万円となっている。起債が膨れ上がった原因を尋ねる。

際には単年度に多額の資金が必要となる。その財源として地方債を発行している。
今年度からは地方債の年間発行額上限を10億円と定め、その範囲内で施設整備を実施する。
問 町の起債の返済期間は、どうなっているのか。滞った場合は催促が有るのか。又、滞った事はあるのか。
町長 耐用年数の範囲内として分割で償還する事になっている。違約金の割合を乗じた金額を支払う事になるが、現在に至るまで滞ったことはない。

町長 議員の指摘どおり、与謝野町の地方債残高は一般会計、特別会計、企業会計を合計して284億6千84万円となっている。合併以降の与謝野町の地方債残高は平成24年度の334億5千177万円がピークとなっており、以降かえりこども園新設事業、加悦中学校改築事業、宮津与謝クリーンセンター整備事業等、大規模事業を実施しながらも年々減少傾向である事も承知願いたい。
町債の増加要因は大規模事業を始め公共施設の建設や改修を実施する



財政再建

次回9月定例会は9月1日より開会予定です。

Q 手続きの一覧表を配布すべきだ

A 合併の際各種手続き等、冊子は配布してある



高岡伸明 議員

問 各庁舎でできる手続きの一覧表を配布していないことをどのように思うか。

町長 平成18年の合併の際「暮らしのガイドブック」で庁舎の案内、各種手続き等について冊子を各戸配布している。

問 各庁舎に各手続きができるように主だった用紙を置いておくべきではないか。用紙を置くことは明日からでもできることはないか。

町長 手続き内容を確認する必要がある。手続き内容を聞きすべての手続きを行うことは不可能と考えている。

問 各庁舎ですべての手続きができるようにするべきだ。週に一日でも

各庁舎から人員配置の対応の考えは。

町長 担当課でもそれぞれ係がある。すべての職員を分散させるとなると、人員的に難しいと考える。現在の3庁舎ですべてを対応することには限界があると考えている。

問 午前と午後の日に2回岩滝、野田川、加悦、3庁舎を経由するバスを用意することはできないか。住民サービスの充実を図ることは大きなことで必要ではないか。

町長 コミュニティバスひまわりをご利用いただきたい。住民の移動手段としての公共交通の在り方を考える必要がある。



町民の利便性を考えて

Q 見える町づくりを問う

A よさの地域デザイン会議



HP上に記載されているデザイン会議の様子

問 持続可能な町づくりにおける公共サービスの在り方について住民の方との対話により多くのアイデアや提案があったと聞いている。ある委員からは野田川こども園を野田川庁舎跡か山田小学校跡に設置と意見をいただいているが。

町長 野田川地域の認定こども園をどこに建設するかについては、子どもたちの教育、保育環境の均衡を図るために、早急に解決すべきであると判断している。

問 次のステップは、決めることとされているが。

町長 就学前の保育、教育環境における学びの場は、遊びの場であると考えている。就学前の子どもたちに



渡邊貫治 議員

は遊びの場における遊びから経験や体験することによりいろいろなことを学び取りながら成長していく。子どもたちの教育保育環境の場の公平性を保たせるためにも早急に解決すべきであると判断している。

Q この4年間への想いや考えは

A 住民の皆様のご共感を得ながら実行したい



今井浩介 議員

意味のある政策なのか、疑問や不安の声が多くあがるが。

町長 政治活動の一端の中で住民の皆様にお知らせしていく。また、頻度を上げること、事業の進捗、成果が出ているかということに直結する。

問 理想ばかりで達成できない、イメージできない、何のためにやるのか、そうならないようにしっかりと全体の計画を考えて頂きたい。

町長 総合計画との整合性、住民の皆様のご共感を得ながら実行に移していきたい。



藤田史郎 議員

問 庁舎問題については、あまり議題に上らなかつたと思うが、今議会では他議員からも質問があった。行政組織の一体化・連携と情報の共有化そして職員のコミュニティを考えても、現行の3庁舎分離方式を再検討する必要があると思う。

町長 人口減少・少子高齢化が今後続く中、公共サービスのあり方、それに必要な公共施設のあり方について、公共施設等マネジメント推進委員会での議論結果を参考にし、検討していく。

問 合併後の庁舎あり方委員会を尊重され、野田川地域の中心地に新庁舎建設のため、基金を積み立ててい



加悦地域公民館

問 過去8年かけてどんな種がまかれて、いつ、どんな芽や花が咲くのか。

町長 まちづくりのほとんどの分野において「実行済み」、すなわち「種まき」をしてきた。新たに掲げた基本政策と総合計画に基づき進めたい。

問 進むべき時系列や工程、どれくらい時間やお金がかかるのかわからない。この4年間はどこまでやるのか。

町長 一定程度の道筋が見えているもの、これから着手するもの、少し時間をかけて考案するもの、それぞれの段階に基づいた上での実行計画、予算編成が必要になる。すべての事業を前に進めることができると考える。

問 結果は出るのか、本当にできるのか、住民も私も見えない部分。本当に



総合計画

Q 調査が無駄にならない対策を

A 地域総がかりで対応したい

問 平成24年中央自動車道の笹子トンネルの天井板落下事故を受け国は老朽化した道路や橋などを総点検し補修・更新を徹底しようとするが、町でも道路や橋梁、カーブミラーなどの公共物の点検がされたが、町内でカーブミラーの倒壊事故が発生した。どのような調査がされたのか。

町長 平成26年から令和元年までの6年をかけ町内全域878基のミラーを国土交通省が策定した総点検実施要領道路標識編を参考に点検を実施し、結果を点検記録表にまとめた。

問 修繕計画はどのようなになっているのか。

町長 ミラーの修繕については緊急性の高いものを年間10基程度修繕しているが、町内全域の修繕計画は策定できていない。



山崎政史 議員



修繕されたカーブミラー

問 今後の対応は。

町長 修繕済みの箇所もあるが再点検を実施したうえで、町内全域の修繕計画を策定のうえ、優先順位を決定し順次修繕していきたい。

問 調査が無駄にならないよう修繕計画を策定することが安心安全のまちづくりの基本ではないかと考える。

町長 毎年度、的確な調査を住民の皆さまの力を借りて地域総がかりで状況把握・対応に努めていきたい。

Q 当町に独自の奨学金を

A 役割分担により支援をする



浪江秀明 議員

として、それぞれの役割と分担により進学希望者と保護者の皆様方を支援していきたいと考えている。

問 医師・助産師・介護福祉士・看護師については奨学金制度があるが、大学生・専門学校生に対する町独自の奨学金は創設できないのか。

町長 与謝野町では通学圏内に高等教育機関が少ないことから、進学を理由に転出する若者が多く、経済的な不安や学費・生活費の負担感があることも認識している。なお、国においては新たな給付型奨学金制度により、学びたい気持ちを応援する環境が整備されてきている。京都府では、府内事業所と共に奨学金を返済する若者を支援する「就労・奨学金返済一体型支援事業」を実施している。国や府、広域連携、基礎自治体



様々な支援を

Q 地域貢献の福祉会でリフレ継続を

A 農業分野と福祉分野を住み分けて検討する

問 リフレは、よさのうみ福祉会の指定管理契約が3月で切れ、現在直営で運営。実質的には福祉会が運営委託し今までもどおりで営業。町予算は6月分までしかなく、7月以降は風呂と宿泊のみで今年度末まで営業する予算が今議会に提案。レストラン営業停止を惜しむ人が殺到。地元農産物の使用等、地元と一体となった地域づくりはみんな評価しているのか。

町長 これまでの取組を排除するものではない。

問 契約解除は年1千150万円の指定管理料を2千400万円にと要望したことが要因。今議会の予算追加で、直営でも2千539万円必要となった。要望額は適正では。今まで運営出来たのは、毎年1千万円の福祉会本部からの借入があったから、これは本来町が負担するべき額ではないか。

町長 双方で合意した金額である。公平な予算を。



永島洋規 議員



継続が望まれるリフレかやの里

問 クアハウス指定管理料追加906万円、施設改修費5千440万円が今議会に提案。クアハウスはほとんど予算がつくが、リフレのレストラン営業止めは不平等では。

町長 公平公正に対応している。

問 将来のまちづくりを議論していく上で、合併で生じた問題を総括しないで、新しいまちづくりを前に進めていくことは出来ないが、一方、本町の公共施設の再編を議論している「地域デザイン会議」では、庁舎一体化の必要性から「まず庁舎の再編」からという意見が多いと新聞報道もされている。

Q 合併の総括3庁舎を加悦庁舎に

A 役場庁舎も時代にに応じて変化が求められている



杉上忠義 議員

とも考え、公共サービスのあり方に伴う公共施設のあり方も並行して検討していきたい。

問 本町は観光によって交流人口・関係人口の増加を図ることが重要。アフターコロナは「地域の時代」という新しい発想の取組を始めたが。

町長 「多様な交流を実現する」を掲げ、観光産業の強化を目指している。マイクローリズムの推進が重要。また「新しい観光様式」に対応していくことが必要であるとも認識している。



待たれる庁舎の再編



河邊新太郎 議員

問 本町における子ども弱視の状況について問う。

町長 3歳児健診の視力検査は、保護者の問診と3歳児の視力検査、そして医師の診察により、弱視をはじめとする異常のスクリーニングをしている。健診で弱視の異常が認められた場合は、確定診断につなげる。そして、保護者による専門医への受診により行う。

問 3歳児健診を受ける全ての幼児に屈折検査を実施されているかを問う。

町長 既に今年度の3歳児健診から屈折検査機器による検査を実施。今後とも、母子保健における乳幼児の健康促進の観点から、早期発見、早期対応に努めていく。

問 小さな鳥居が不法投棄対策に大きな効果があるといわれているが。

町長 春・秋に町内各地でクリーン作戦や町の不法投棄パトロール、ボランティアによるごみ拾いや草刈りの清掃活動により環境美化が維持されている。よって、小さな鳥居が不法投棄対策として大きな効果があるかは、実証がない。

問 不法投棄対策を問う

町長 ごみを捨てる法律で罰せられることを、回覧で町民に周知が必要ではないか。

町長 これまでから、町広報誌に啓発記事を掲載。



3歳児健診で屈折検査を

Q 子どもの弱視発見に向けた取組

A 早期発見、早期対応に努める



和田裕之 議員

問 当町の新型コロナウイルスワクチン接種状況は。

町長 昨年2月より初回接種を開始以降、段階的に対象年齢を拡大。2回目接種率は92%、3回目接種率が75%である。

問 3回目接種率の年齢が若いほど、全国的に低下傾向であるが見解は。

町長 若年層においては重症化リスクが低いということもあり接種率が低下していると考え。

問 4回目接種の対象者は①60歳以上の方②18歳から59歳で基礎疾患を有する方③その他、重症化リスクが高いと医師が認める方、となっている。やはり、4回目接種は「重症化予防」を目的としていることは理解しているが、対象者の拡大に対しても要望すべ



ワクチン接種

町長 今後、様々な情報を収集しながら対象者の拡大も示唆されている。

問 文科省から「マスク着用」の通知が出された。夏場は熱中症も懸念される。マスク着用の考え方は。

教育長 マスク着用については引き続き基本的な感染対策であり、身体的距離が十分でない場合、熱中症のリスクがない場合は、マスク着用が必要。コロナ禍の自衛防止対策

問 コロナ禍が続く中、自殺者数が全国で増加している。自殺防止対策を。

町長 自殺防止対策の強化が必要。相談体制の強化、相談窓口の周知をする。

Q 新型コロナウイルス感染症対策を

A 引き続き基本的な感染予防対策を講じる

Q 阿蘇ベイエリア観光の方向性は

A 府と連携し進めたい



安達種雄 議員

問 近く国の文化庁の京都移転が実現し、天橋立の世界遺産も現実となる。以前、町長に阿蘇ベイエリアの観光について伺った。その後の対応は。阿蘇海の水质向上、牡蠣など貝殻の除去は。

町長 阿蘇海環境づくり協議会、宮津市、本町が提携し、国際ボランティア学生協会に協力頂き天橋立周辺、阿蘇シーサイドパークの水路、沿岸の牡蠣殻などの撤去や、男山沿岸の夏に大量発生する「アオサ」については男山地区の皆様、協議会の方に回収して頂いている。本町では自然循環農業を推進し、野田川に流れる肥料を少なくして水質改善に繋がっている。

問 体験型観光事業でカヌー、セーリングなどの取組は。



阿蘇ベイエリア

町長 平成30年開催の「阿蘇海の日」で体験して頂いた。更に賑わいを大きくするよう取組む。

問 岩滝橋の復活、天橋立、一宮航路就航は。

町長 今年度、京都府に船の航路を失った阿蘇ベイエリアに海上交通を取り戻し、人の滞留、賑わい創出、京都府、団体等が開催のイベントの誘導や、丹後半島を周遊するeバイクのハブ拠点としての活用誘導を要望し、京都府と連携しながら阿蘇ベイエリアの活性化に取組んでいく。

Q 掲げる政策施策は形にすることが重要

A 町民との信頼関係を重点に各施策を実行する



家城 功 議員

問 7つの政策36の施策をどう進めるのか。

町長 「みんな・みらい・みえる」3つの理念に基づき進めていく。

問 夢や理想だけでは町づくりはできない。現実を把握し進めるべき。

町長 一定の方向性は示した。それに基づいて町民と一緒に進めていく。

問 町民の思いを聴くことばかりが優先されて、それをどう形にするかが全くないように感じるが。

町長 協議検討が最終目的ではなく実行に移す形が重要であり、そのように進める努力をしたい。

問 検証の甘さを感じるし、そこが問題である。

町長 一定の時間をかけ検証した。それを伝えきれていないかもしれないこととは反省する。

問 その考え方が甘い。失敗を認め、反省を踏まえ、次につながる形にすることが「検証」という。

町長 より尽力していく。

問 説明責任と協力を得られる体制づくりも甘いと同時に強く感じている。

町長 指摘のとおり甘さも感じている。より一層理解の得られる形にしていく努力をして取組む。

問 数値的目標、達成期限、財源などを明確に示すことが政策には必要。「みえる」ということはそれを意味する。

町長 示すべきものに対しては、しっかりと示していくことが重要である。



実際の公約紙



まちの宝
子どもページ

加悦小学校の紹介

～人とのつながりを大切に～

地域の3小学校が再編されて3年目となる加悦小学校。再編直後にコロナ禍となり、うまく友達とつながれない期間もありましたが、チームなかよし班掃除やペア学年交流等の異年齢集団活動をとおして、学年はもちろん、学年以外の友達とのつながりも徐々に広がっています。

今年度は、京都府教育委員会より「教科担任制を拠えた系統的な学び推進事業」の研究指定を受け、理科を中心として学力向上に向けた取組を進めています。「学びをつなげる」「生活とつながる」「人とつながる」を合言葉に、全ての学習において「自ら学びに向かう児童」を目指し「知りたい!」「伝えたい!」「やってみたい!」という学習に前のめりの児童の育成を目指します。



「伝えたい!」「やってみたい!」を授業でも意識しています。友達との学び合いの良さを感じさせたいです。

「知りたい!」という興味・関心を高めるために、直接見たり聞いたり体験したり・・・という学習も大事にしています。



子どもたちはもちろん、保護者や地域の方も待ちに待った、再編後初の運動会です。子どもたちのつながりもグッと深まりました。



宮津天橋高等学校 加悦谷学舎の紹介

～可能性を信じて一歩前へ!～

宮津天橋高等学校加悦谷学舎の魅力は3つ

- ①素直で純朴な生徒たち
- ②生徒にとことん寄り添い、向き合って自己実現をサポートする教職員集団
- ③与謝野町と連携し、生きた学びを得られる環境

加悦谷学舎の生徒はとても心優しく、何事にもまじめに取り組み、地域貢献の意欲を持っています。

学校として、学力向上のための取組充実はもちろん、本学舎生徒による小学生へのトレーニング指導、社会人（職業人）との交流会、ボランティア活動の企画運営や地域の方々を講師にお招きした特別授業の実施など、地元地域と連携した学校だけでは体験できない学びの場を設けています。

これらの学びをとおして、生徒の可能性を伸ばしています。



学習コーナーで英単語テストを自ら受ける生徒



社会人との交流会
(講師: デザイナー兼カメラマン)



本学舎生徒による小学生へのトレーニング指導